

広報たしる

No. 421

昭和63年9月号



田代町企画管財課



人口のうごき

昭和63年8月1日現在

住民基本台帳		増 減				前月 対比
		出 生	転 入	死 亡	転 出	
男	1914	0	3	1	8	△6
女	2112	1	6	4	5	△2
計	4026	1	9	5	13	△8
世帯数	1441					1

田代町少年の船

与論町と交歓会

(関連記事 8 ページ)



約三百人の踊り連

夏まつり花火大会
―約三百人の踊り連参加―
天候不順のため一日延期されて、恒例の夏まつり花火大会が七月二十九日盛大に行われました。今年も子どもみこし（田代小サッカースポーツ少年団、大原剣道スポーツ少年団）が町内の商店を商売繁盛を祈願して練り歩き、また午後六時三十分より田代町商工婦人部を先頭に十一団体約三百人の踊り連が役場前から中央運動場まで踊り歩きました。

納涼大会は、舞台を中心にした輪踊りに始まり、田代幼稚園、川原保育園児による踊り、花火大会、いろいろな景品が当たる抽選会も行なわれ、自分の抽選券の番号にちがって、こ、当選番号の発表があるたびに一喜一憂し夏の夜のひとときを過ごしました。



花を添えた子どもみこし



貫通点で強く握手

新田トンネル本抗貫通式
―八月三日本抗が貫通―
現在、国道四四八号線改良工事の一貫として進行中である新田トンネル工事の本抗が八月三日貫通し、同日トンネル抗内において貫通式が行なわれました。
式典は事業主体である鹿児島県関係者、不動産建設林共同企業体をはじめ工事関係者田代町、田代町議会、他多数の参列者が見守る中、トンネル掘削機のスイッチ点火に始まり貫通地点における田代町側内之浦町側両方から関係者が合流して、強く握手を交わし貫通を喜び合いました。



退職された宮内まゆみさん

ごころづさまでした
宮内まゆみさん退職
去る、七月三十一日付をもって宮内まゆみさんが退職されました。

宮内さんは、昭和五十四年八月から昭和五十六年五月まで田代中学校司書補として勤務されておりましたが、昭和五十六年六月一日付で収入役室収入係を命ぜられ、収入役室で五年十ヵ月、民生課戸籍係で一年三ヵ月勤務され今回退職されました。

七年一ヵ月の間、町政発展のための尽力されました。本当にありがとうございました。



警察官B（高等学校卒業程度）及び交通巡視員採用試験

1. 受付期間 昭和63年9月1日～昭和63年9月17日（土）
 2. 採用予定人員
(1)警察官B 鹿児島県 約37人、他府県 約16人〔警視庁、神奈川県、愛知県、大阪府〕
(2)交通巡視員 鹿児島県のみ約6人
 3. 受験資格
(1)警察官B 昭和36年4月2日～昭和46年4月1日までに生まれた男子ただし、4年制大学の卒業者又は昭和64年3月末日までに卒業見込の者
(2)交通巡視員 昭和36年4月2日～昭和46年4月1日までに生まれた女子
- ※詳しいことは警察署、又は駐在所におたずねください。



ちまきづくりに挑戦



溪流でのにじますつりも体験

本町では、都市と農村の交流を促進するため、体験農業ツアー、鹿児島島の味ふるさと列車と名うって、八月四、五、六日にツアーを実施しました。「かごしまの味ふるさと列車」の参加者は、東京近郊より十一名、体験農業ツアーは鹿児島市より十七名が参加しました。
ふるさと列車の参加者は、受入農家に宿泊し、農作業体験や、農村生活体験等を通じ田代のもつ豊かな自然、豊富な農産物、人情味あふれる人柄などに直接ふれることにより、農業、農村に対する関心と理解を深めるとともに、田代の特産物、自然、風土等の良き理解者となってもらいました。
また、鹿児島市からの体験農業ツアーによる参加者は、去る五月一日に植えた落花生、さつま芋掘りを行い午後からは、奥花瀬ニジマス釣場で、冷たい水につかりながらニジマス釣りを楽しみ、田代の自然を満喫しました。

かごしまの味ふるさと列車・体験農業ツアー
―合同で農業体験満喫―



みんなで一つの輪になって



木工教室に参加して本立ても作った



自分達で作ったにしめをほおばり

「田代便」
第一便発送

遠く離れた田代町出身者の方に田代の味覚をあげてもらうと、「とりたて、ふるさとの味田代便」を企画し、八月十一日町長はじめ役場、農協関係者約七十人が見送るなか、農協前から第一便を発送しました。

第一便は、夏の味覚ということで、メロン、サトイモ、カボチャ、茶など九品目の外に宅配者が感謝の気持ちとして田代の新米も一緒に詰められました。

ふるさとの味宅配便は、今回以外にも九月は「十五夜セツ



農協所長から運送業者へ

「田代便」
第一便発送

ふるさとの味

五年に一度の住宅統計調査が、今年、十月一日全国いっせいに実施されます。この調査は、住宅の種類、広さ、住宅設備の状況、世帯の居住状況などを明らかにするものでその結果は、国に県の住宅建設計画、都市計画など住宅関係の施策の立案等の基礎資料として利用されます。

住宅統計調査

調査は、本県の約五万五千世帯を対象に行われ、調査員が九月二十三日から直接、訪問調査します。調査内容は法律によって統計以外には使用しないことになっていますので、県民の皆様への調査へのご協力をお願いします。

▽問い合わせ 企画管財課 企画係まで

一、基金の額 一千万円（資金は増額も可能）
二、貸付期間 妊娠牛は三年間育成牛は四年間とします。

肉用牛生産素牛導入

基金貸付始まる

田代町では、肉用牛生産素牛導入基金条例制度をつくり肉用牛の無利子貸付けを初めました。

今後参加の呼びかけを行い、契約数を増やしていく、将来は特産品の販路となるよう期待しています。
尚、会費は年間契約で一万二千となっています。

ト」としてはぎ、栗、ススキのほか柿などの秋の産物、十二月は、「正月セツ」として鏡もち、しめ縄、イチゴパックなどを取りそろえて、年三回宅配します。

村づくり一品運動

管理作業

柿

一、土壌管理
九月上旬から中旬にかけて収穫が始まるので、収穫前に園地の内外の草刈りを行う。
二、台風対策
台風の時期になりますので、倒伏や枝の折損防止のため、幼木では支柱をたてる。風により倒伏や枝の折損があった

例 ミカン秋用1号 (10.6.6)

10a当り収	収穫直後(20%)	10月下旬(50%)	11月下旬(30%)
kg	kg	kg	kg
500	20	50	30
1000	25	60	35

※未結果樹については11月上旬に施用

結果樹は、収穫直後に年間施肥の二十パーセントを施用す。

三、施肥

二、度切りを行う。
結果樹は、収穫直後に年間施肥の二十パーセントを施用す。

四、収穫

（一）収穫時期の判定は、カラーチャートを利用し、果頂部の果色5、ヘタ部4以上を目安とし早採りしない。
（二）収穫は午前中に行ない果実温度を上げない。
（三）収穫は採果はさみを使用し、長軸とならないように二度切りを行う。
（四）収穫
（一）炭そ病・うどんこ病：収穫直後にジマンダイセン水和剤四百倍散布
（二）カメムシの発生をみたら夕方に防風樹等を含め、スミチオン粉剤を散布する
（三）夜蛾・コガネムシの誘殺
焼酎・ハル、酢・六、砂糖百五十g

場合は、早目に処理を行う。
三、病害虫防除

第105回 高山木材共販相場表

TEL0994-65-5234

昭和63年8月11日市

長 級	径級	スギ					ヒノキ					平均単価
		中 伐 材			間伐材	主 伐 材				間伐材		
		曲	安	中	高	直	曲	安	中	高	直	
40	3～10		10,500	11,000	13,000	10,500		15,000	17,00	19,000	15,000	22,700円
	11～13		16,500	17,000	19,000	17,500		25,000	30,000	40,000	25,000	
	14～16		17,500	19,000	21,000	17,500		35,000	60,000	70,000	35,000	
30	18～22 (タイコ)		21,000	22,000	24,000	20,000		40,000	70,000	90,000		
	3～10		8,000	8,500	9,500	8,000		7,000	8,000	10,000	7,000	
	11～13		14,500	15,000	17,000	14,500		13,000	18,000	22,000	13,000	
	14～16		17,500	19,000	21,000	17,000		35,000	53,000	70,000	35,000	
	18～22 (タイコ)		20,000	22,000	23,500	20,000		35,000	55,000	80,000		

肝属郡消防ポンプ
操法大会

肝属郡消防ポンプ操法大会が、八月二日、鹿屋市中央公園サッカー場において開催され、一昨年に引き続き上位入賞が期待されましたが、惜しくも入賞を果すことはできませんでした。

肝属郡消防ポンプ操法大会は、消防操法の技術向上をはかるため、二年に一回行なわれています。今回は、小型ポンプの部で川原分団、自動車ポンプの部で大原分団が出場しました。



テキパキとしたポンプ操法を展開

田代町消防後援会

田代町消防後援会会長に、田中虎一さんが四月一日から就任されました。

消防後援会は、消防団の防火思想の普及、消防力の充実強化、消防団員の資質向上などの事業を行い、経済的及び精神的援助を目的としています。

永年消防後援会会長として活躍された鶴園末吉さんに対して敬意を表します。
永い間ご苦勞様でした。

夏の交通事故
防止運動

一 あめ玉作戦展開

『安全で、さわやかな夏をおくろ』をスローガンとして、昭和六十二年八月三十一日までの一カ月間夏の交通事故防止運動が実施されました。これは、夏の解放感や暑さからくる疲労、レジャー交通の増加等による居眠り運転による交通事故の防止を願って、田代町交通安全協会により運転手にあめ玉を配布しました。



協会員によるあめ玉の配布

電報がイメージ一新
九月一日スタート

従来の「カタカナ」を主体とした電報から九月一日を期して「ひらがな」主体の電報に変わります。また、アルファベットや、小文字を使つての物音、促音等の使用もできるようになり、スマートで読み易い電報に変わります。

一例を紹介すると次のとおりです。

（電報は横書き形式です）

（現）

ゴケツコンヲシュクス。ワインデカンパイ」エヌテイテイ

（新）

ごけっこんをしゅくす。ワインでかんぱい」NTT

ご不明の点は、115番へお尋ねください。

暴力追放ダイヤル設置

暴力団関係の事件は、平和な私達の町でも発生しており、警察では一生懸命に防犯、検挙に努めているところですが、防犯、検挙には町民の皆様の情報提供などがどうしても必要です。

又、鹿児島県警察本部には、暴力追放ダイヤル

0992-25-3400を設け、暴力団関係等の困りごと相談を受理していますが、来たる九月十日午前九時から午後二時まで、鹿児島市金生町の山形屋一号館に民事介入暴力事件相談所を開きます。

この相談所には、警察官のほかに、法律専門家の弁護士三名も待機していますので、商取引などに暴力団が介入して困っておられる方は是非、利用されることをお勧めします。 詳しいことは大根占警察署刑事防犯課にお尋ね下さい。

七月四日、田代中学校PTA二十数名で陵北荘と鹿屋工業高校、和光学園等の研修視察をしました。



PTA研修視察参加者

教育だより

PTA研修視察に 参加して

田代中学校

「陵北荘」は身体障害者に対して社会復帰ができるように開設されたものであり、とてもいろいろな施設が充実していました。説明を聞きながら、皆さんの一生懸命な姿にただただ感動さえおぼえました。健康な私たちでさえできない縫製、竹工、木工等、上手に授産されているのです。販売もあり、学校の庭等を数十本大へん安くて購入しました。

鹿屋工業高校では各科の説明を作業現場でしていただき、中学生を持つ親として子供の進路について、深く考えさせられました。和光学園は精神薄弱児に対して、園長さんや職員の方々が親身になって指導されている姿をじかに見ることができて、とても心を打たれました。

帰りのバスの中では、今日のいろんなことを語りながら歌やゲームに興じ、腹の底から笑うことができました。このような研修視察を通して、見聞を広めることができ、いろいろな問題提起もあるいはできるようなるのではないかと思います。どうもありがとうございました。

キャンプ

七月二十五日、この日は雨だった。

今日は、私達が一ヶ月も前から楽しみにしていたキャンプなのに、空は灰色の雲でいっぱい。

計画では花瀬公園だったが、急きょ学校に変更になりました。しかし、残念がってばかりはいられないので、さっそく夕食の準備にとりかかった。

献立は、カレーライスと野菜サラダです。男子は慣れない包丁を片手に、女子は心配そうにその光景を見守っています。

みんなで協力して、やっと夕食準備が整いました。ひと口、ふた口と口に運ぶとすばらしい味で、一番おいしいカレーライスを食べたような気がします。

その後は、キャンプファイヤーをしました。三十名、一人一人の手にたいまつを握り燃えさかる炎に、「学級の和」を誓いました。

時間も次第に過ぎてゆき、回りが暗闇の中に沈む頃、もっとも楽しい、いや、もっとも



キャンプ中のレクリエーション



「拓魂」の前にて記念撮影

こわい、肝だめし大会がやってきたのです。

男子二名女子一名のグループで校舎をひとまわりして、来るのですが、校舎の不気味なこと、それに加えて途中、先生方や保護者の方が、ゴリラの面などをつけておどかすのです。中には、大声を出して走り回る人、涙がほおを流れ落ちて人、本当にこわいひと時でした。だんだんと夜もふけてきて楽しいひと時もあつという間に過ぎ去ってしまつた。

雨が降って予定どおりにはいかなかったが、みんなの心の中に楽しいキャンプの思い出が残ったことと思います。

ようこそ、田代町へ

与論町「パナウル少年の船」の四十五名の方が八月十一日、田代町へ見えられました。午前十時ごろ到着。役場前にて歓迎式を終え、開発センターでさっそく交歓会。田代町「少年の船」の団員のみならずと昼食。話のはずむひとときでした。そして、盤山公民館へ。盤山では、有馬功さんの話に聞き入り、ユーモアたっぷりに自己紹介。そして、与論話。最後は、いっしょに与論音頭、バナウル音頭を踊り、交歓を深めました。

いつまでも忘れえぬひとときとして残ることでしょう。



検査のようす

米の初出荷始まる

米の初出荷が、八月二十三日から農協集荷所で始まりました。

今年は、昨年と比較してカメ虫等の被害も少なく、多少乾燥不足で水分が多いが米の状態は良く、肝属郡内では最高のできと評価された米が出荷されています。現在、検査途中ですが、一等出荷米が約八十%を占めています。田代町の今年度の限度数量は、四千七十九俵ですが、予約外来の取扱を含め、昨年の三千三百七十一俵を目標としています。

尚、ほかの産地が出荷しない前に、出荷したいので予約外来の出荷も早目をお願いします。

★敬老の日に伴う 高齢者訪問 について！

町では、本年も敬老週間の行事として、町内に住所を有する八十八歳以上の高齢者の方々の長寿と健康をお祝いするため九月十四日各家庭及び施設を訪問し、敬老年金を支給いたします。

又、八十八歳未満の方々にしては、民生委員が訪問し年金を支給いたします。

尚、八十八歳以上の高齢者の方々は次のとおりです。

氏名(年齢)	(部落)
1 田代 井子(八十八歳)	(下)
2 大浦 義彦(九十歳)	(下)
3 並松 スガ(八十八歳)	(下)
4 大久保 モイ(九十歳)	(西中郡)
5 湯通堂 ハル(九十三歳)	(西中郡)
6 原ノ後 アキ(九十五歳)	(西中郡)
7 中原 武一(八十八歳)	(橋ノ口)
8 山下 ツルカメ(九十歳)	(橋ノ口)
9 武田 ケサノ(九十歳)	(岩崎)
10 中野ケサカメ(八十八歳)	(西大原)
11 坂元 マキ(八十八歳)	(中尾)
12 松ノ下英之助(八十九歳)	(中尾)
13 松ノ下 キク(九十歳)	(中尾)
14 西元ケサカメ(九十七歳)	(中尾)
15 釘田 ヒデ(八十八歳)	(新田)
16 窪 スナ(九十歳)	(新田)
17 宮原 栄熊(九十歳)	(鶴ノ野)
18 山田 フデ(九十歳)	(盤山)
19 宮原 アリ(八十八歳)	(山ノ口)
20 川畑 ウト(九十歳)	(盤山)
21 福永 ユク(八十八歳)	(平石)
22 石井 豊彦(八十八歳)	(平石)
23 岩田ムメキク(八十八歳)	(柴立)
24 山崎 ミツ(九十歳)	(柴立)
25 瀬口 栄蔵(八十八歳)	(上栗立)



26 柳田 フヂ(九十歳)	(上栗立)
27 井手口 正義(九十歳)	(上原)
28 馬庭ケサマツ(九十七歳)	(上原)
29 猪鹿倉仙次郎(八十八歳)	(猪鹿倉)
30 島淵 清次(八十八歳)	(島淵)
31 後迫次郎右衛門(九十歳)	(南松園)
32 山下 ツマ(九十歳)	(南松園)
33 壺崎 フリ(九十歳)	(南松園)
34 谷川力子マツ(九十一歳)	(南松園)
35 永山 義盛(九十一歳)	(南松園)
36 半田 キソ(九十六歳)	(南松園)
以上三十六名	

戦没者遺族及び旧軍人・軍属等の皆様の ために移動援護相談 所が開かれます。

この相談には、県国保課の職員が直接皆様の御相談に応ずることになっております。

1 日時

昭和六十三年九月七日

午前十時から十五時まで

受付

2 場所

吾平町振興会館

3

未帰還者及び戦傷病者など

昭和六年九月十八日以後の公務傷病により、五款症以上の傷病恩給等の給付を受けていた戦傷病者について、法に定める基準日に当該傷病恩給等を受給していた者の妻に対して、特別給付金(国債)が支給されます。

紺碧と純白と真紅の自然にふれて

——思い出せばいいの田代町「少年の船」——

昭和六十三年度田代町「少年の船」事業は、八月二日(火)八月六日(土)の四泊五日の旅で、船中研修田代町の姉妹町である与論町との交流を通して、集団活動の実践や体験および異年齢集団での相互学習をし、「ともに学ぶ」「真の友情を培う」「たくましい心身を養う」などの自立自興の精神を学びとる目的で行なわれました。



田代町「少年の船」に参加したみなさん

八月二日、結団式を終えた五十二名は町のマイバスで鹿児島新港へ。午後六時、あけぼの丸で与論島へ向け、出港。翌日の午後三時、二十時間余りの船旅を終え、無事与論島に到着。港では、「イダ、ウアーチタバーリ」と大歓迎をうけ、船旅のつかれも回復。夜は交歓会。歌あり、踊りあり、話合いありの楽しいひととき。与論の人達のなさが心にしみる夜でした。



与論町の人達と話がはずむひととき



いっしょに田代音頭を踊る

四日は、サイクリングで史跡めぐり。そして、キャンプの用意。おにぎりの昼食をすませた後は、待ちに待ったコバルトブルーの海での海水浴。スキンドビング。夜は、あわただしく食事をすませ、天体観測。与論の自然が心に残った一日でした。



テント設営をする中学生



海中公園でのスキンドビング



百合ヶ浜での海水浴を楽しむ



夜の食事の準備をする女子団員



土星を天体望遠鏡で観察する

八月五日、午前中買い物をして、午前十一時、役場前にて離島式。役場の多くの人に見守られながら、みんなもつと与論にいたいという気持ちにかられたことでしょう。



役場前での離島式

昼すぎ、あたたかい見送りとおみやげをもらって、与論を出発。去りゆく和論をいつまでも見続けているみんなの姿に、「少年の船」事業の意義を痛感したかったです。夢のように過ぎ去ってしまった五日間でしたが、団員の心の中には、与論のすばらしい自然とのふれ合い、与論の人々との出会いが一生の思い出として残ることでしょう。これからは、この経験を学校・職場で生かして下さい。

「少年の船」に参加して

大原中 東郷 妙子

公民館での交歓会、スキンドビング、夜の天体観測など思い出はいっぱい頭の中に残っている。もう二度行けないかもしれないが、私自身の心の中に、そしてアルバムにいつまでも閉じておきたい。

田代中 井手籠 剛

与論の人達は、気が良く優しくかった。自分のことを反省して、浮かんできるのは、自分勝手な行動ばかりして迷惑をかけたことである。そして、その度に、班長さんにしかられたことを。帰ってから、まずこの点を直すよう努力している。これを機会に、さらに自分を磨いていきたい。

南大隅高校 福留てるみ

この研修に参加し、良い経験をさせていただきました。これからの生活に役立て、ヨロンの人達に負けぬようがんばろうと思えます。

ばらうと思えます。良い思い出をありがとうございます。ありがとうございました。

大原中 栗脇 康信

長いようで、とても短かった五日間でした。何よりも思い出に残ったのは、与論の人達のやさしい心と、もつともつと与論町をよりあげていこうという気構えでした。ぼくは、そういう与論の人達に負けられないよう、「この田代を大事にし、もつともつと発展させていこう。」と思うことでした。

南大隅高校 安楽さおり

与論で仲良くなった友達が最後まで手を振り続けてくれて、涙が出るうれしかった。与論島が見えなくなっても見続けながら、(本当に参加してよかったなあ。いくつもの失敗はしたものの、自分の反省となり、これからこのことが向上となるようにしたいという心構えができたし、与論の自然を実際見て、心が燃きつきそうになったのは初めてだった。与論の人達は、すばらしい

自然にふさわしく暖かい心の持ち主だった。いいことづくめで、この旅は一生忘れないことだろう。)と思いつつ、与論島を後にした。

青年 山田せい子

「少年の船」に参加して、年齢の違いをこえ、一致団結して行動できたこと。すばらしいエメラルドグリーンの与論島を見たこと。どこか忘れかけていた、あたたかく、そして人情味あふれる人々に出会えたことをとても感謝しているしだいです。ありがとうございました。

南大隅高校 猪鹿倉昭浩

十一日は、与論の人達とまた逢えて、友達の輪を広げた。しかし、与論は本当によかった。来年の夏休みは、与論にまた一度行こう。新婚旅行は与論に決めた。それから、死ぬ前にもう一回ぐらい行こう。絶対に……。

大原小 有里 美和

三日間、与論で過ごしてきて、与論のいろいろな草花、

くだ物、そして何よりもきれいだっただけを見るのができるともうれしく思った。すき通り、青色の海。この海で、スキンドビングした時のうれしさ、サンゴのきれいな色。一生、忘れられない。

田代小 窪 正己

与論に行きつて思ったことは田んぼがなくて、さとうきび畑がたっくんあったことでした。とっても楽しい少年の船でした。

養護教諭 徳丸 恭子

この研修は、家庭生活や学校生活では得られにくい、大変貴重な体験だったと思います。異年齢の中で、それぞれの見方や考え方で、与論という土地を理解し、また、自分達の郷土について、今まで気付かなかったことを発見したのではないでしょう。研修を終えた子ども達は、ひとまわりもふたまわりもたくましく成長したようです。明日の田代を担うリーダーとして、今後子ども会や学校や地域の活動の中でがんばってほしいと思います。

健康だより

がんの予防

「食生活や環境改善でがんは防げる」

心臓病、脳卒中には遺伝が50%ある。しかしがんは一ないし二%で、原因の80%は食生活とタバコにあり、18、19%はビールスによるもの。その他紫外線、放射線等の原因があるが、がんの原因の多くは環境にあるわけです。

61年の統計では、男女共胃、肺、肝臓ガンの順に多く、男女差では男11万人、女性は七万八千人で、男の方が圧倒的に多い。

予防癌学研究所長の平山先生の全国調査によれば「タバコ、酒、肉を毎日とり緑黄色野菜を食べない人のガン罹患率」はタバコ、酒、肉を毎日とらず、緑黄色野菜を食べる人に比べ非常に高くなっている事がわかった。

つまりがんにかかりやすい人は①タバコを吸う人

②大酒を飲む人

③野菜がきらいな人

④牛乳をとるパターン食生活のきらいな人

⑤肉が大好きな人となる。

日本人の食生活は明治の頃か

ら昭和30年頃迄はワンパターンで、ご飯と漬物でした。こう言う食生活だと塩分が多く、蛋白質やビタミンが不足し脳卒中になりやすい。

その頃多かった胃がんによる死亡が昭和40年頃から減り始めた。これは明らかに冷蔵庫の普及です。そしておかずも食べる時代となり、脳卒中が減った。

昭和50年頃からスーパーマーケットが普及して、農村の人でも野菜や冷凍食品を買って食べるようになって来た。

西洋式の食生活になったわけで、脂肪の摂取量が多くなりその結果、大腸ガンや乳ガンが少しずつ増えてくる傾向にある。

胃ガンで見ると全国で死亡者数の一番多いのが秋田県ですが、隣の岩手県は下から二番目です。秋田県は米どころ、ご飯と味噌汁、漬物の食生活パターンが多い。岩手県は山地で畑作が多く野菜も多い。魚もとれる為、それらの摂取も多く、日本型の食生活でこれが大変重要なのである。この様にガンにかかりやすい生活とガンにかかりにくい生活があるが、皆さんどちらを選びますか。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



田代町社会福祉協議会「篤志寄附金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

山崎 岩 男 様

障害者の雇用に
御協力を

九月は、「心身障害者雇用促進月間」です。

障害者が、自らの適性と能力に応じた職業に就き、充実した日々を過ごすためには、本人の努力はもとより、県民特に事業主の理解と協力が不可欠です。

一人でも多くの心身障害者我企業の一員として受け入れられるよう事業主の御協力をお願いします。

また、この月間にちなみ、県と県心身障害者雇用促進協会では、次のとおり、障害者雇用促進・激励大会を開催します。県民、事業主の方々の多数の御参加を待ちます。

▽障害者雇用促進・激励大会
・日時 九月二十四日
午後一時三十分、四時

・場所 県青少年会館（鹿児島市鴨池新町一八）
▽詳しくは、最寄りの公共職業安定所まで。